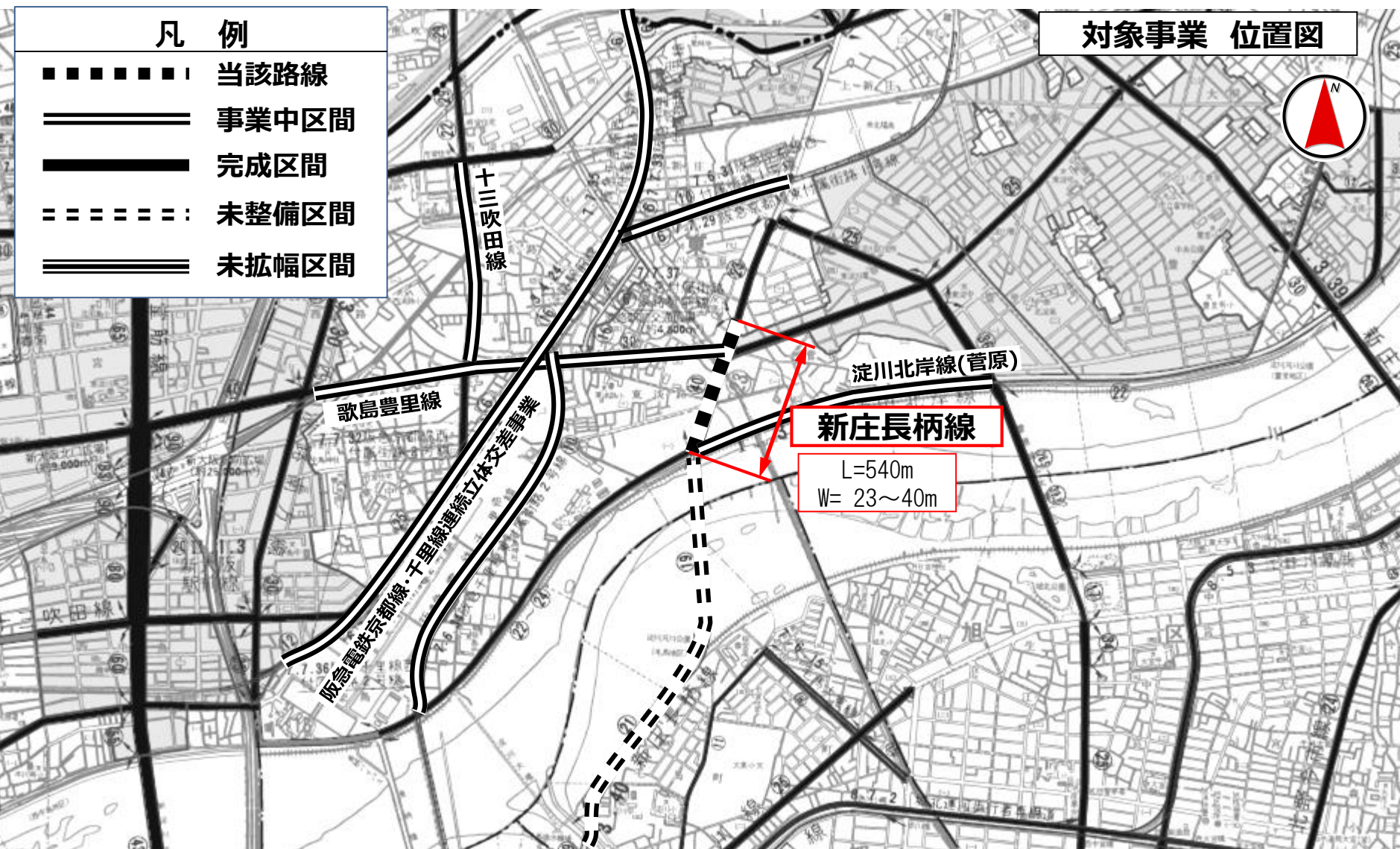


東淀川区菅原3丁目～東淡路1丁目



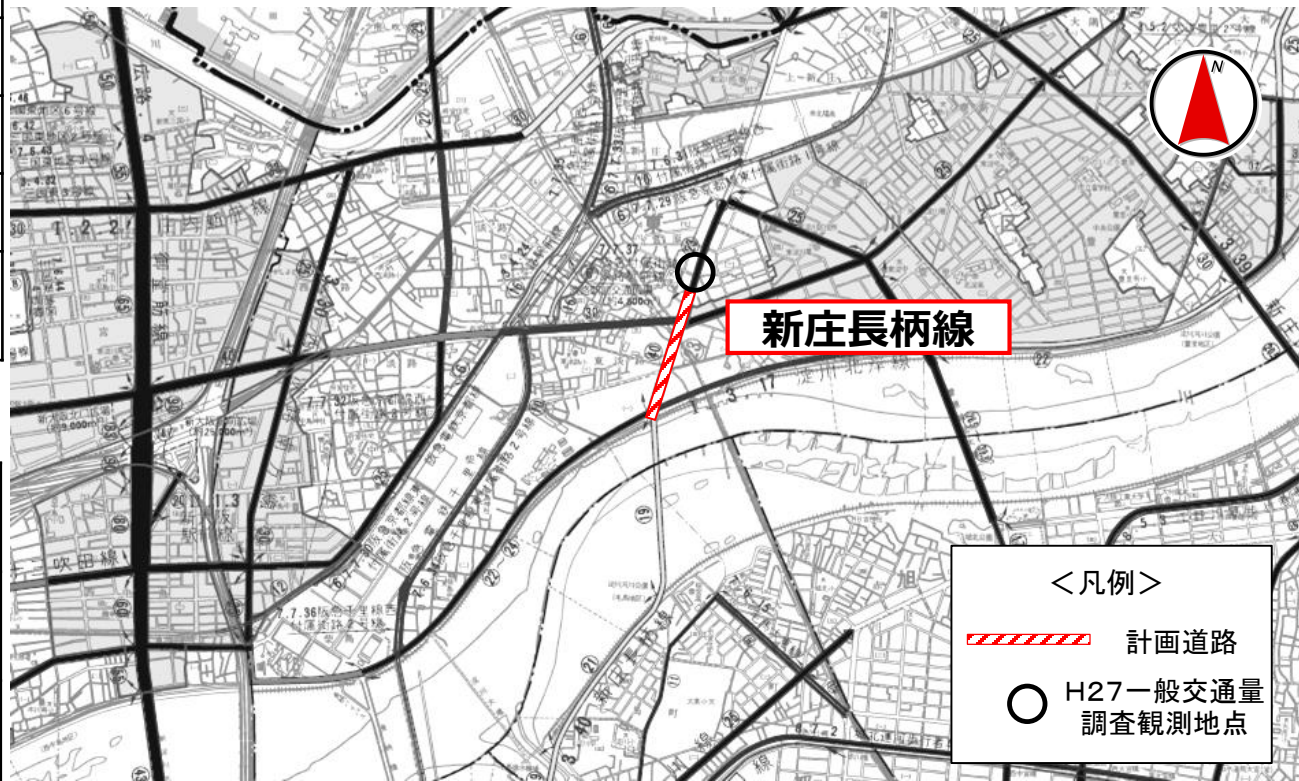
便益 (単位：億円)

走行時間短縮	7.9
走行経費減少	0.4
交通事故減少	0.1
歩行者快適性向上	1.5
合計(初年度便益)	9.8
便益総額の 現在価値	139.7

費用 (単位：億円)

事業費 (単純合計)	67.1
維持管理費 (単純合計)	2.6
投資総額の 現在価値	83.3

社会費用便益比B/C	1.68
------------	------



注) 便益額、費用額については単位(億円) 下一桁を四捨五入しているため、合計値の端数が合致しない場合もある。

①



②



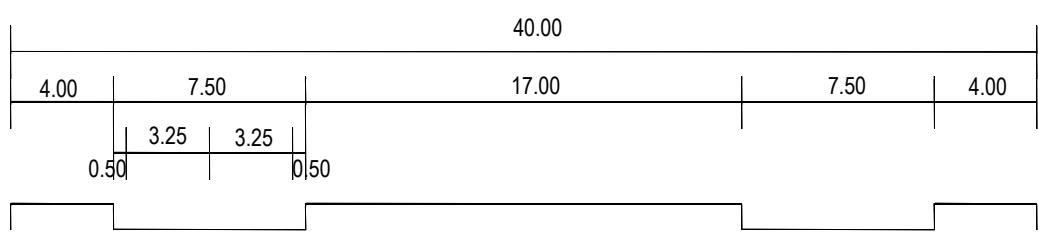
③



事業中区間 L=540m W= 23~40m



計画断面図

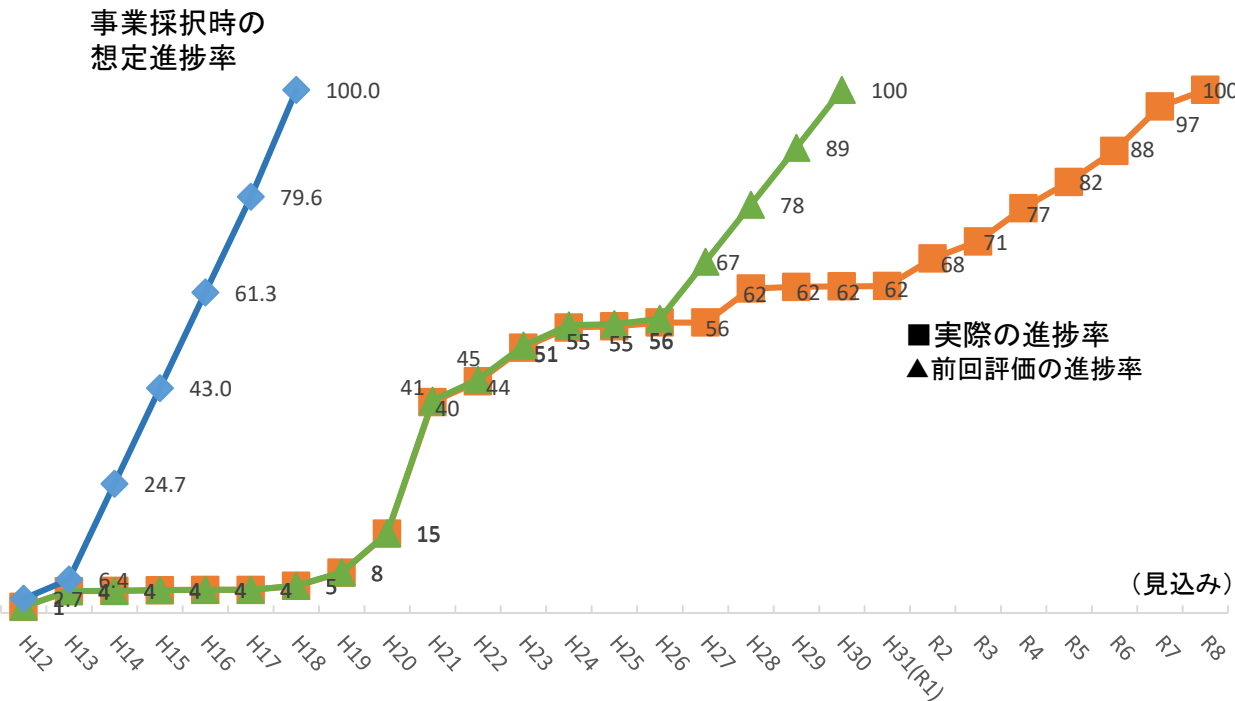


凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件
	施工中箇所

用地取得率： 74% (面積ベース)
 工事進捗率： 0% (面積ベース)

事業費ベース進捗率： 62%

進捗率の推移(単位:%)



残事業の内容

- ・用地取得8件(1,923㎡)
- ・道路工事(延長540m、面積20,535㎡)
- ・残事業費約25億円

今後のスケジュール(見込み)

- ・令和8年度 事業完了予定

事業が遅延した原因とその状況

- ・用地取得において、近年の下落傾向にある土地価格での売買に難色を示されていることなどで、用地買収が難航し、事業が長期化していた。
- ・財政状況が非常に厳しく、限定的な事業実施にとどめざるを得ないため、当初計画に比べ進捗が遅れていた。

対応と解消の目途及びその根拠

- ・本路線は、用地取得の難航により事業が長期化していたが、用地取得の目途も立っており、年次計画どおりの予算が確保出来ることで、完了予定年度での完成が見込める。